

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施策	②体系的な道路ネットワークの構築
			施策の小項目名	○体系的な幹線道路ネットワークの構築
主な取組	那覇空港自動車道の整備		対応する成果指標	主要渋滞箇所数
施策の方向	・沖縄本島の南北軸と東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網（ハシゴ道路）、空港・港湾へのアクセス強化に資する重要物流道路や那覇都市圏の交通容量拡大、交通経路分散に寄与する2環状7放射道路の整備など体系的な幹線道路ネットワークの構築に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本島中南部・北部の各拠点の地域振興の支援、物流の効率化及び交通混雑の緩和を図るため、那覇空港自動車道(小禄道路)の整備を行う。	国	小禄道路の整備		
		整備促進に向けた県から国への要請回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課	【 098-866-2390 】	関連URL	https://www.ogb.go.jp/kaiken/3434/11917/011623/011473

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	道路交通円滑化改築 (国道506号)				予算事業名	道路交通円滑化改築 (国道506号)		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度			
国直轄	その他				主な財源	実施方法	当初予算額	
					国直轄	その他		
令和4年度活動内容					令和5年度活動計画			
国は、小祿道路の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回(5月、11月)行った。					国は、小祿道路の整備を行う。県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。			
予算事業名	国直轄事業県負担金 (国道506号)				予算事業名	国直轄事業県負担金 (国道506号)		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度			
県単等	負担				主な財源	実施方法	当初予算額	
					県単等	負担		
令和4年度活動内容					令和5年度活動計画			
県は、国の小祿道路の整備に係る負担金を支出した。さらに県は国に対し、当該事業の促進を図るため早期整備等の要請を2回(5月、11月)行った。					県は、国の小祿道路の整備に係る負担金を確保する。さらに県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。			
活動指標名	整備促進に向けた県から国への要請回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	整備の実施	整備の実施	2回	2回	100.0%	順調	国は、小祿道路の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回(5月、11月)行った。	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年度の要請回数は、目標値2回に対し実績は2回だったことから目標を達成しているため順調とした。 国において、小祿道路の整備が着々と進んでおり、完成後は広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセス改善、利便性向上及び産業の振興に寄与する。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>引き続き国に対し、早期整備の要請を2回行う。</p>	<p>県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	自動車保有台数やレンタカーの増加等に伴い、今後もさらなる交通量の増加が見込まれることから、当該道路の早期整備が望まれる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	引き続き国に対し、早期整備の要望を2回行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ シームレスな交通体系の整備	施策	②体系的な道路ネットワークの構築
		施策の小項目名	○体系的な幹線道路ネットワークの構築
主な取組	沖縄西海岸道路の整備	対応する成果指標	主要渋滞箇所数
施策の方向	・沖縄本島の南北軸と東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路)、空港・港湾へのアクセス強化に資する重要物流道路や那覇都市圏の交通容量拡大、交通経路分散に寄与する2環状7放射道路の整備など体系的な幹線道路ネットワークの構築に取り組みます。		

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
中南部圏域西海岸の地域拠点、広域交流拠点、高規格幹線道路を相互に連絡し、物流の効率化、交通渋滞の緩和を図るため、沖縄西海岸道路(読谷道路等)の整備を行う。	国	読谷道路、浦添北道路、那覇北道路等の整備		
		整備促進に向けた県から国への要請回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課	【 098-866-2390 】	関連URL	https://www.ogb.go.jp/kaiken/3434/11917/011623/011475

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名	道路交通円滑化改築事業 (国道58号)				予算事業名	道路交通円滑化改築事業 (国道58号)		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度			
国直轄	その他				主な財源	実施方法	当初予算額	
					国直轄	その他		
令和4年度活動内容					令和5年度活動計画			
国は、読谷道路等の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回 (5月、11月) 行った。					国は、読谷道路等の整備を行う。県は、当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。			
予算事業名	国直轄事業県負担金 (国道58号)				予算事業名	国直轄事業県負担金 (国道58号)		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度			
県単等	負担				主な財源	実施方法	当初予算額	
					県単等	負担		
令和4年度活動内容					令和5年度活動計画			
県は、国の読谷道路等の整備に係る負担金を支出した。さらに県は国に対し当該事業の促進を図るため早期整備等の要請を2回 (5月、11月) 行った。					県は、国の読谷道路等の整備に係る負担金を確保する。さらに県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。			
活動指標名	整備促進に向けた県から国への要請回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		国は、読谷道路等の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回 (5月、11月) 行った。	
	整備の実施	整備の実施	2回	2回	100.0%			

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年度の要請回数は、目標値2回に対し実績は2回だったことから目標を達成しているため順調とした。 国において、読谷道路等の整備が着々と進んでおり、完成後は広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセス改善、利便性向上及び産業の振興に寄与する。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
引き続き国に対し、早期整備の要請を2回行う。	県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	自動車保有台数やレンタカーの増加等に伴い、今後もさらなる交通量の増加が見込まれることから、当該道路の早期整備が望まれる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	引き続き国に対し、早期整備の要請を2回行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ シームレスな交通体系の整備	施策	②体系的な道路ネットワークの構築
		施策の小項目名	○体系的な幹線道路ネットワークの構築
主な取組	ハシゴ道路ネットワークの構築	対応する成果指標	主要渋滞箇所数
施策の方向	・沖縄本島の南北軸と東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網（ハシゴ道路）、空港・港湾へのアクセス強化に資する重要物流道路や那覇都市圏の交通容量拡大、交通経路分散に寄与する2環状7放射道路の整備など体系的な幹線道路ネットワークの構築に取り組みます。		

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄本島の南北軸と東西軸を有機的に結ぶハシゴ道路、空港・港湾へのアクセス強化に資する重要物流道路や那覇都市圏の交通容量拡大等に寄与する2環状7放射道路の整備など体系的な幹線道路ネットワークの構築に取り組む。	県	浦添西原線、県道24号線バイパス、南部東道路、上之屋道路等の整備		
		整備済延長(累計)		
		0.4km	整備実施(0.4km)	1.6km(2.0km)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課	【 098-866-2390 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	地域連携推進事業費 (地域高規格道路)			予算事業名	地域連携推進事業費 (地域高規格道路)		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
内閣府計上	直接実施	2,508,252	2,650,425	主な財源	実施方法	当初予算額	
令和4年度活動内容				内閣府計上	直接実施	4,396,926	
南部東道路 (橋梁工事、道路改良、用地補償) の整備を行った。				令和5年度活動計画			
予算事業名	高規格ICアクセス道路整備事業費等			南部東道路 (橋梁工事、道路改良、用地補償) の整備を行う。			
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	予算事業名	高規格ICアクセス道路整備事業費		
—	直接実施	3,225,818	3,259,104	R5年度			
令和4年度活動内容				主な財源	実施方法	当初予算額	
幸地インター線 (橋梁工事、道路改良、用地補償)、城間前田線 (街路工事) 等の整備を行った。				—	直接実施	4,312,076	
令和5年度活動計画				令和5年度活動計画			
幸地インター線 (橋梁工事、道路改良、用地補償)、城間前田線 (街路工事) 等の整備を行う。				幸地インター線 (橋梁工事、道路改良、用地補償)、城間前田線 (街路工事) 等の整備を行う。			
活動指標名	整備済延長 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	整備実施	整備実施	0.4km	0.4km	100.0%	順調	南部東道路、幸地インター線、城間前田線等の整備を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和4年度は宜野湾北中城線において一部供用を開始しており、また、各路線の整備は概ね計画通りに進められていることから、取組は順調と判断した。ハシゴ道路ネットワークの構築を図ることで、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセス改善、利便性向上及び産業の振興を図る。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
工事発注が可能となるよう連続した用地取得に取り組むとともに、部分的な開通等により事業の早期効果発現を図る。	連続した用地を取得するため、優先区間を設定し集中的に用地交渉を行った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	一部路線において用地交渉の難航等により、用地取得ができず工事発注に影響が生じる場合がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	用地交渉難航案件については、収用手続きを行っているものの、想定以上の期間を要し早期の用地取得に至っていない場合がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	難航した場合に代替箇所での工事が可能となるよう、用地担当と事業担当で密に調整を行い、計画的な用地交渉を実施する。
⑧ その他	収用手続き期間を考慮した供用開始までのスケジュールを作成し、早期の用地取得に向けた工程管理を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ シームレスな交通体系の整備	施策	②体系的な道路ネットワークの構築
		施策の小項目名	○渋滞ボトルネック対策
主な取組	渋滞ボトルネック対策	対応する成果指標	主要渋滞箇所数
施策の方向	・短期的な渋滞対策である主要渋滞箇所における渋滞ボトルネック対策に取り組みます。		

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
主要渋滞箇所における交差点改良や右折帯設置等の渋滞ボトルネック対策に取り組む。	県	主要渋滞箇所の改良		
		改良箇所数(累計)		
		1箇所	1箇所(2箇所)	1箇所(3箇所)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課 【 098-866-2390 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄振興公共投資交付金事業 (道路)			予算事業名	沖縄振興公共投資交付金事業 (道路)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
内閣府計上	直接実施	328,983	87,504	内閣府計上	直接実施	83,620
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
主要渋滞交差点の整備を実施した。				主要渋滞交差点の整備を実施する。		

活動指標名	改良箇所数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		—	—	1箇所	1箇所	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

概ね計画通りに進められていることから、取組は順調と判断した。
引き続き短期的に対策可能な主要渋滞交差点の渋滞ボトルネック対策を図る。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
渋滞対策の着実な推進に向けて、入札の不落不調を避けるべく、参加資格拡大や適切な工事発注時期を検討する。	設計を完了した箇所から前倒しでの工事発注に取り組んだ。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	発注時期等により工事の入札不調や不発が発生する可能性がある。	⑧ その他	適切な工事発注時期を検討し、早期に工事を発注する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施策	③沖縄都市モノレールの機能強化
			施策の小項目名	○沖縄都市モノレールの安全・安心な運行継続
主な取組	モノレール施設の点検・修繕		対応する成果指標	モノレール乗客数
施策の方向	<p>・沖縄都市モノレールは、県民や観光客の公共交通の基盤となっており、令和元年には、首里駅～てだこ浦西駅までの延長が実現し、県内唯一の定時定速の公共交通機関として重要性が増しているため、安全・安心な運行を継続できるよう取り組む必要があります。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
モノレールインフラ施設(軌道桁、支柱、駅舎等)について、長寿命化修繕計画に基づき、事業を実施し、施設の長寿命化、ライフサイクルコストの低減を図る。また、計画的な修繕によりモノレールの運行への影響を極力抑える。	県,事業者	長寿命化計画に基づくモノレールインフラ施設の修繕		
		長寿命化計画に基づく修繕の進捗率(事業費ベース)		
		6.1%	11.0%	14.3%
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄都市モノレール道整備事業 (道路)			予算事業名	沖縄都市モノレール道整備事業 (道路)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ハード)	委託	199,525	0	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ハード)	委託	270,001
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
首里駅の分岐器修繕工事を行った。				首里駅、運営基地出入り口及び浦西駅の分岐器修繕を行う。		

活動指標名	長寿命化計画に基づく修繕の進捗率 (事業費ベース)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-%	-%	0%	6.1%	0.0%	やや遅れ	首里駅の分岐器修繕を行っている (令和5年度繰越)。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

分岐器の修繕を行っているところだが、部材の修繕に不測の日数を要したため、一部の修繕を令和5年度に繰り越している。繰越分について、令和5年度上半期までに完了予定である。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き定期点検を行うことで、腐食・劣化箇所の把握に努め、補修設計・工事に取り組むことにより、施設の長寿命化を図る。 R4年度から長寿命化計画を更新するため、新計画の内容に添った補修を進める。 	施設の老朽化状況に鑑み、分岐器の補修を実施し、施設の長寿命化を図った。今後も引き続き計画的な施設の修繕を実施していくとともに、腐食・劣化箇所の把握を行うため定期点検を実施していく。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	沖縄都市モノレールインフラ部は、沖縄特有の高温多湿及び塩害などの厳しい自然環境により、鋼構造物の損傷・劣化が生じやすい。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	定期点検で確認された損傷箇所に対して補修を実施しながら、定期的に点検し、必要な補修設計・補修を実施する必要がある。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施策	③沖縄都市モノレールの機能強化
			施策の小項目名	○沖縄都市モノレールの輸送力増強の推進や高速化の検討等
主な取組	沖縄都市モノレール輸送力増強事業		対応する成果指標	モノレール乗客数
施策の方向	<p>・乗客数も予想を上回るペースで増加していることから、地域間を結ぶ交通ネットワークの拡充を図るためにも、今後の需要動向を踏まえ定時速達性に優れた幹線公共交通機関として、モノレールの輸送力増強の推進や高速化の検討に取り組むとともに、駅舎の一部増築など、需要に合わせた整備を促進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>沖縄都市モノレールの時間当たりの最大混雑率を120%未満に抑えるため、2両1編成の車両を3両1編成化し、輸送力の増強を図る。また、これと併せて車両を留置する新車両基地を整備する。</p>	<p>県,那覇市,浦添市,事業者</p>	輸送力増強に向けた3両編成車両の整備(車両整備、新車両基地整備、既存駅舎の改築等)		
		3両編成車両運行開始数(累計)		
		—	2編成	2編成(4編成)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄都市モノレール輸送力増強事業			予算事業名	沖縄都市モノレール輸送力増強事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ハード)	その他	1,758,407	6,584,108	一括交付金 (ハード)	その他	6,863,430
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
3両編成車両製造、可動安全柵設置工事、新車両基地工事、既存車両基地工事を実施し、分岐器制作が完了した。				3両編成車両製造、可動安全柵設置工事、新車両基地工事を実施する。		

活動指標名	3両編成車両運行開始数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-	-	-	-	0.0%	順調	令和5年度の3両編成車両運行開始に向け、3両編成車両製造、可動安全柵設置工事、新車両基地工事、既存車両基地工事、分岐橋改修工事、下部工工事、上部工制作等を実施中である。また、分岐器制作が完了している。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>3両編成車両運行開始の目標は、令和5年度開始となる。そのため、令和5年度の3両編成車両運行開始に向け、3両編成車両製造及び関連施設である新車両基地工事、既車両基地工事、既設駅の可動安全柵設置工事、上部工・下部工工事等を実施中である。なお、令和4年度末に3両編成車両2編成を搬入しており、令和5年度中に当該2編成を運行開始する見込みであり、進捗状況は概ね順調である。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3両編成車両運行開始を早期に実現するため、運行事業者が実施する既存駅の改修工事及び可動安全柵設置工事の工事スケジュールを管理した。 ・ 3両編成車両運行開始を早期に実現するため、運行開始に係る軌道法工事施工認可について、申請者（運行事業者）と事前協議を適宜行った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	<p>工事スケジュール管理のため、毎月1回程度、運行事業者と調整を実施したが、工事遅延等の運行開始に係るリスク要因の把握が遅れることがあったため、より一層の運行事業者との連携が必要である。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	<p>事業主体である運行事業者と運行開始に係るリスク要因の把握に勤め、適宜調整等を実施する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施策	③沖縄都市モノレールの機能強化
			施策の小項目名	○定時・定速かつ利便性の高い公共交通ネットワークの形成
主な取組	幸地IC(仮称)整備事業		対応する成果指標	モノレール乗客数
施策の方向	<p>・沖縄自動車道と沖縄都市モノレール延長区間の結節やパーク・アンド・ライド駐車場の利用促進を図り、定時・定速かつ利便性の高い公共交通ネットワークの形成に取り組みます。加えて、関係機関等と協力し、沖縄都市モノレールとその他公共交通機関間の利用環境を改善させることで、県民及び観光客の移動利便性の向上を図ります。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
沖縄自動車道と沖縄都市モノレールの結節により定時・定速かつ利便性の高い公共交通ネットワークの形成を図るため、幸地IC(仮称)の整備を進める。	県	幸地ICの整備			
		整備進捗率			
		58.0%	69.2%	80.3%	
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課		【 098-866-2390 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	高規格ICアクセス道路整備事業費			予算事業名	高規格ICアクセス道路整備事業費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
内閣府計上	直接実施	1,294,245	1,951,330	内閣府計上	直接実施	1,920,648
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
幸地IC (仮称) (橋梁工事、用地補償) の整備を行った。				幸地IC (仮称) (橋梁工事、用地補償) の整備を行う。		

活動指標名	整備進捗率		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	58%	58.0%	100.0%	順調	幸地IC (仮称) (橋梁工事、用地補償) の整備を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

概ね計画通りに進められていることから、取組は順調と判断した。
 沖縄自動車道と沖縄都市モノレールの結節により、定時・定速かつ利便性の高い公共交通ネットワーク形成を図る。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
必要であれば、期限を設定し土地収用法による収用を検討する。 迂回路の整備、工事用道路の整備等スケジュールを検討し工事に支障が無いよう周辺整備を整える。	土地収用法による収用の手続きを開始した。 迂回路及び工事用道路を含めた整備スケジュールを作成し進捗を図っている。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	土地収用法による収用の手続きを進めた事で、事業地内の全ての用地取得の見込みが立ったが、引き続き補償物件の移転完了まで時間を要するため、本体工事の施工への影響が懸念される。	⑧ その他	補償物件の移転に時間を要している一部の未取得用地について、本体工事の施工に支障が出ないように迂回路および工事用道路を整備し事業進捗を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施策	③沖縄都市モノレールの機能強化
			施策の小項目名	○沖縄都市モノレールとその他公共交通機関間の利用環境の改善
主な取組	駅バス停間の移動円滑化		対応する成果指標	モノレール乗客数
施策の方向				

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>沖縄都市モノレール各駅の昇降機(エレベーター、エスカレーター)は、供用開始から20年以上が経過しており、老朽化が顕著である。今後も安定して昇降機を運用するため、計画的な改修を行う。</p>	<p>県</p>	<p>道路から駅舎への移動円滑化に向けた、既存駅昇降機(エレベーター、エスカレーター)の改修</p>		
		<p>改修完了駅数(累計)</p>		
		<p>設計</p>	<p>2駅</p>	<p>2駅(4駅)</p>
担当部課【連絡先】	<p>土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】</p>		関連URL	<p>—</p>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄都市モノレール道整備事業費 (道路)			予算事業名	沖縄都市モノレール道整備事業費 (道路)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ハード)	委託		0	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ハード)	委託	30,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
古島駅の昇降機改修の設計業務を行った。設計に時間を要し、令和5年度に繰り越した。				引き続き昇降機改修の設計業務を行うとともに、古島駅の昇降機改修工事を行う。		

活動指標名	改修完了駅数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	設計	設計	100.0%	やや遅れ	昇降機改修の設計業務を行っている (令和5年に繰り越し)。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

駅昇降機の改修については県内に事例がなく、設計に時間を要しており、設計完了が令和5年度末になると見込まれることから、取組は「やや遅れ」と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況	令和4年度の取組改善案	反映状況
		昇降機改修の設計業務を行っているが、駅昇降機の改修については県内に事例がなく、設計に時間を要しているところ、他県の実例を収集しながら着実に設計業務を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	県内に事例がなく、設計に時間を要している。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	事例を収集し、着実に設計業務を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施策	⑤過度な自家用車利用からの転換
			施策の小項目名	○交通需要マネジメント(TDM)施策の推進
主な取組	自転車利用環境の整備		対応する成果指標	てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場入庫台数
施策の方向	<p>・シームレスな交通体系の構築により、自家用車の利便性を上回る交通環境を提供することにより、過度な自家用車利用から公共交通等への利用転換が図られることから、自転車通行空間の整備や、パーク・アンド・ライド、シェアサイクルの利用促進、モビリティ・マネジメント(MM)等の交通需要マネジメント(TDM)施策を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
都市部における渋滞対策及び低炭素都市づくりの実現に向け、既存道路に自転車走行位置を明示することにより自転車走行環境を確保し、自動車に頼らないライフスタイルへの転換、自転車の利用促進を図る。	県	自転車利用環境の整備		
		自転車通行空間の整備延長(累計)		
		0.3km	0.3km(0.6km)	0.3km(0.9km)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課	【 098-866-2665 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	公共交通安全事業			予算事業名	公共交通安全事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ハード)	直接実施	40,657	82,401	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ハード)	直接実施	15,800
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県管理道路において、自転車通行空間の整備を82m実施した。				自転車通行空間を0.3km整備する。		

活動指標名	自転車通行空間の整備延長 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	3.7km	0.2km	0.1km	0.3km	33.3%	大幅遅れ	県管理道路において、自転車通行空間の整備を82m実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

自転車通行空間の計画延長0.3kmに対して、整備延長が0.082kmとなっている。関係機関等との調整に時間を要しており大幅な遅れとなっている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 既に策定されている自転車活用推進計画や、自転車ネットワーク計画を基に、国や県、市町村と連携して自転車通行空間の整備を行う。 国の自転車施策に関する情報提供を行うとともに、市町村に対して計画策定に向けた支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村が策定した自転車ネットワーク計画に基づき、国や市町村と連携し取り組んでいる。 市町村に対し、行政懇談会等において計画策定を促している。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	県内において、まだ、断片的な整備しかされていないため、計画的、効率的に自転車通行空間の整備を行う必要がある。	② 連携の強化・改善	既に策定されている自転車活用推進計画や自転車ネットワーク計画を基に、国や市町村と連携して自転車通行空間の整備を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施策	⑤過度な自家用車利用からの転換
			施策の小項目名	○交通需要マネジメント(TDM)施策の推進
主な取組	パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進		対応する成果指標	てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場入庫台数
施策の方向	<p>・シームレスな交通体系の構築により、自家用車の利便性を上回る交通環境を提供することにより、過度な自家用車利用から公共交通等への利用転換が図られることから、自転車通行空間の整備や、パーク・アンド・ライド、シェアサイクルの利用促進、モビリティ・マネジメント(MM)等の交通需要マネジメント(TDM)施策を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
パンフレットの配布等の周知活動により、パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進を図る。	県,事業者	パンフレットの配布等の周知活動によるパーク・アンド・ライドの利用促進		
		パンフレット配布回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	モノレール利用促進事業費			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	16,167	1,217	主な財源	実施方法	当初予算額
				-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
指定管理者により利用促進のため、パンフレット配布を実施した。また、駐車場の精算機について、新500円硬貨に対応出来るよう改修を実施した。				引き続き指定管理者による駐車場管理を実施し、パンフレットの配布等の周知活動により、パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進を図る。		

活動指標名	パンフレット配布回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	-回	1回	1回	100.0%	順調	パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進のため、令和5年3月にパンフレットを70,000部作成し、浦添市・宜野湾市・西原町の周辺3市町でポスティングを実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年度の目標であったパンフレット配布による周知活動1回について、令和5年3月にパンフレットを70,000部作成し、浦添市・宜野湾市・西原町の周辺3市町でポスティングを実施し、パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進を図っており、進捗状況は順調である。また、このような宣伝広告等の効果もあり、令和4年度の駐車場入庫台数は153,440台、前年比約40.0%増となった。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	<p>・パンフレット等の宣伝広告については、パーク・アンド・ライドシステムの仕組みや施設の役割を広く県民に紹介し、公共交通利用促進につながる宣伝広告を実施した。</p>

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	<p>利用者の増加に伴い、さまざまな要望等が利用者から出ているため、それに対応していく。</p>	⑥ 変化に対応した取組の改善	<p>今後の利用者のさらなる増加に対応するため、キャッシュレス精算の導入やカーナビ等を利用した駐車場情報（満車空車情報）の提供を実施する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ シームレスな交通体系の整備	施策	⑤過度な自家用車利用からの転換
		施策の小項目名	○道路利用の効率化の検討
主な取組	道路幅員構成の再配分の検討	対応する成果指標	てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場入庫台数
施策の方向	・IoTやリアルタイムモニタリング等を用いて人流、物流等のビッグデータを収集し、AI等を活用した交通システムや自動運転等により、道路利用の効率化が図られることから、公共交通や歩行者及び多様なモビリティに対応した道路空間の幅員構成再配分を検討します。		

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
歩行者及び多様なモビリティに対応した道路空間の幅員再配分に向けた検討を行う。	県	最新技術の活用による地域の実情に応じた最適な道路空間の再配分に向けた検討		
		全国の事例調査、国動向の把握、課題整理等		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課	【 098-866-2390 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄振興公共投資交付金事業費 (道路) (効果促進)			予算事業名	沖縄振興公共投資交付金事業費 (道路) (効果促進)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ハード)	その他			主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ハード)	その他	10,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
道路幅員構成の再配分に向けて短・中・長期の取組内容の方向性を検討した。				道路幅員構成の再配分に向けて、取組内容の熟度を高めるとともに、関係機関とのヒアリングを実施する。		

活動指標名	全国の事例調査、国動向の把握、課題整理等		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		—	—	実施	実施		概ね順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

路幅員構成の再配分に向けて短・中・長期の取組内容の方向性を検討したことから、概ね順調とした。
道路幅員構成の再配分の検討を行うことで、歩行者及び多様なモビリティに対応した道路空間の創出に寄与する。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	道路幅員構成の再配分に向けて、短・中・長期の取組内容の方向性を検討した他、短期的な取り組みについては、実現可能な課題等を整理し、具体的な取組内容(案)を検討した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	取組内容については、今後も熟度を高めていく必要がある。	⑧ その他	道路幅員構成の再配分に向けて、取組内容の熟度を踏まえ、関係機関とのヒアリングを実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施策	⑤過度な自家用車利用からの転換
			施策の小項目名	○公・民・学連携による「沖縄型スマートシティ」の調査研究
主な取組	公・民・学の連携による交通・まちづくりの取組促進		対応する成果指標	てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場在庫台数
施策の方向	<p>・人々のライフスタイルの変化等を踏まえ、本県の地域の実情に応じた「沖縄型スマートシティ」の形成を念頭に、SDGsやSociety5.0に対応する地域と交通のあり方の調査研究について、公・民・学が連携する体制を構築し、包括的・継続的に取り組めます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
Society5.0等に対応する地域や交通・まちづくりに向けた、公・民・学の連携による実証実験や先導的な取組等へ参画する。	県,市町村等	Society5.0等に対応する地域や交通・まちづくりに向けた、公・民・学の連携による実証事業や先導的な取組等への参画		
		参画する取組等の数(内訳)		
		1件	1件(継続1件)	1件(継続1件)
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課	【 098-866-2384 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
-	-			-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
地域振興・公民連携に係る支援制度および先進事例等の情報収集や勉強会の実施。				地域振興・公民連携に係る支援制度および先進事例等の情報収集や勉強会の実施。地域の課題解決に繋がる連携取組について、参画または参画への検討。		

活動指標名	参画する取組等の数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-	-	0件	1件	0.0%	やや遅れ	令和4年度は、県有施設へのPPP・PFIの利活用に向けた情報収集や発信、勉強会等を開催し、参画への検討を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

初年度となった令和4年度は、県有施設へのPPP・PFIの利活用に向けた情報収集や発信、勉強会等を開催したが、案件への参画には至らなかったことから、やや遅れと判断した。本取組については、継続して取り組んでいく。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	県有施設へのPPP・PFIの利活用に向けた情報収集や発信、勉強会等の開催を行い公・民・学の連携への理解が深まるよう取り組んだ。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	地域が抱える様々な課題の解決のための交通・まちづくりへ向けて、どの取組へ参画すべきかの検討を行う必要があるが、先導的な取組のため事例が少ない。	⑧ その他	地域の課題抽出や、公・民・学の連携まで展開しそうな取組について広く情報を収集し、課題解決のための交通・まちづくりに有効な取組の検討を行う。